



感染症情報センター

週報 平成30年・52週(12月24日～12月30日)は平成31年1月8日(火)に掲載予定です。

- ▶ [感染症発生動向調査 \(届出基準・届出用紙\)](#)
- ▶ [神奈川県の感染症発生状況\(週報・月報\)](#)
- ▶ [疾患別情報](#)
- ▶ [トピックス](#)
- ▶ [神奈川県微生物検査情報](#)
- ▶ [定期情報 \(神奈川県の感染症、結核の現状、発生動向調査解析委員会報告 \)](#)
- ▶ [感染症法消毒・滅菌](#)

神奈川県全域と県域(横浜市・川崎市・相模原市を除く)で発生した感染症の発生動向調査の情報を週報・月報でお知らせしています。

週報 平成30年・51週(12月17日～12月23日)

週報 平成30年・52週(12月24日～12月30日)は平成31年1月8日(火)に掲載予定です。

今週の注目感染症

- ▶ **水痘(みずぼうそう)**
今週、神奈川県では定点当たりの報告数が注意報レベルを超えています。水痘は、水痘帯状疱疹ウイルスの感染により、発熱、発疹の症状が出る病気です。発疹は紅斑(赤い皮疹)から水疱(みずぶくれ)を経て痂痂(かさぶた)になります。まれに、肺炎や脳炎を合併し、重症化することがあります。ウイルスは患者の咳やくしゃみ、水疱の液に含まれ、それを吸い込んだり、手に付けて目、鼻、口を触れたりすることで感染します。予防にはワクチン接種が有効で、1歳以上3歳未満の小児は定期予防接種の対象です。また、患者と接触後72時間以内に水痘ワクチンを接種すると発病を抑える可能性があると言われています。
- ▶ **インフルエンザ**
全県の定点当たりの患者報告数は今週「8.40」となり、前週「3.53」より増加しています。
- ▶ **風しん**
神奈川県では今週も15件の報告があり、流行が続いています。

過去の注目感染症情報

今週の全数把握対象疾患

(当該週の国による集計及び各保健福祉事務所からの報告をもとに期日を決めて集計しているため、集計数が前後することがあります。)

分類	対象疾患	内訳				神奈川県 (今週)	神奈川県 (2018年累計)
		県域	横浜市	川崎市	相模原市		
二類	結核	5	6	8	4	23	1,555
三類	細菌性赤痢	1				1	15
	腸管出血性大腸菌感染症	1				1	295
四類	A型肝炎			1		1	95
	デング熱		1	1		2	22
	レジオネラ症		2	1		3	109
	アメーバ赤痢		2	1		3	72
五類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2		1	1	4	227
	急性脳炎			1		1	35
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	2	55
	侵袭性肺炎球菌感染症	1	1	3		5	218
	梅毒	1	1			2	347
	播種性クリプトコックス症			2		2	10
	百日咳	8	5	3	1	17	736
	風しん		8	6	1	15	389

- 結核23例:年齢群は10歳未満1例、20歳代1例、30歳代2例、40歳代4例、50歳代4例、60歳代5例、70歳代5例、90歳代1例、病型は肺結核11例、結核性胸膜炎1例、リンパ節結核1例、腎結核1例、無症状病原体保有者9例
- 細菌性赤痢1例:年齢群は50歳代、菌種は*S.sonnei*(D群)、推定感染経路は経口感染、推定感染地域はマレーシア